

以下は 6 月 26 日に発表された Xiaomi の新型 EV の報道資料の日本語訳です。

英文は[こちら](#)でご確認いただけます。

報道関係者各位

2025 年 6 月 27 日

小米技術日本株式会社

Xiaomi YU7、ついに発売開始 — 価格は 25 万 3,500 元から

2025 年 6 月 26 日、中国・北京発 — Xiaomi は本日、同社初の SUV モデル「Xiaomi YU7」の正式販売開始を発表しました。価格は 25 万 3,500 元から。Xiaomi YU7 は、高性能かつラグジュアリーな SUV として、デザイン・テクノロジー・走行体験・安全性のすべてにおいて常識を覆す存在を目指します。

Xiaomi YU7 は、以下の 3 つのバリエーションで展開：

- Xiaomi YU7 Standard：後輪駆動モデル／25.35 元
- Xiaomi YU7 Pro：四輪駆動モデル／27.99 元
- Xiaomi YU7 Max：高性能四輪駆動モデル／32.99 元



先進のデザイン：内外装ともに非凡、そして永く愛される存在へ

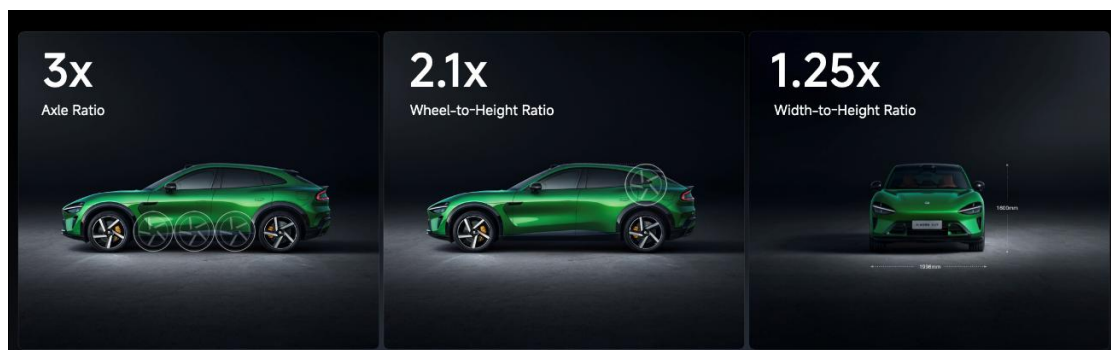
新時代の SUV にふさわしい「正解」であるためには、凡庸を超えた優雅さとラグジュアリー感を備えたデザインが欠かせません。Xiaomi EV は、時を超えて愛されるデザインを追求してきました。そして、その集大成とも言えるのが Xiaomi YU7 です。外装も内装も、そのすべてのディテールにこだわり抜き、上質なラグジュアリー体験を提供する、常識を覆す先進 SUV として誕生しました。

洗練されたプロポーションがもたらす、無限のスタイル

エクステリアでは、ホイールベース対ボディ全長が 3:1、タイヤ径対車高が 2.1:1、車幅対車高が 1.25:1 という理想的なバランスによって、見る者に強い印象を与える美しいプロポーションを実現。これにより、Xiaomi YU7 は高性能 SUV 特有の低重心で力強いスタンスを体現しています。

また、1:3 という超ロングノーズの比率により、フロントはなだらかに伸びたフードラインが形成され、自動車デザインの歴史の中で磨かれてきたラグジュアリーの象徴とも言えるスタイルを確立。安全性の面でも優れており、659mm というクラストップレベルのクラッシュアブルゾーンを確保しています。

ワイドボディ設計と力強く引き締まったリアセクションは、スポーティで存在感のある印象を強調。これらすべての要素が融合することで、従来の SUV とは一線を画す理想的なスタイル・佇まい・輪郭を備えた Xiaomi YU7 は、ひと目で記憶に残る特別な一台です。



Xiaomi SU7 の登場以来、Xiaomi EV は「カラーの美学」においても高い評価を獲得してきました。その実績を踏まえ、Xiaomi YU7 では、同クラス最多となる 9 色の多彩なカラーバリエーションを展開。どのカラーも個性と魅力にあふれ、視覚的なインパクトを持

っています。

すでに発表済みの「バサルトグレー」「ラバオレンジ」「チタニウムシルバー」「エメラルドグリーン」の4色に加え、今回新たに「パールホワイト」「オーシャンブルー」「ダスクパープル」「シャドウティール」「ドーンピンク」の5色がラインナップに加わりました。スポーティからスタイリッシュ、そしてラグジュアリーまで、あらゆるテイストに応えるカラー展開です。

中でも「パールホワイト」は、青みを帯びた繊細なパール感が太陽光に反射して、清らかで洗練された印象を与えます。そのほかのカラーにもアルミ粉やパールパウダーが用いられており、光の角度によってメタリックな煌めきが浮かび上がる仕様。粒子の大きさや配置を繊細に調整することで、豊かで奥行きのある質感を実現しています。



ホイールおよびタイヤの選択肢に関して、Xiaomi YU7 は多様なニーズに対応するため、3 種類のサイズ、2 種類の仕上げ、6 種類のデザインという幅広いバリエーションを提供しています。

長距離性能を重視するユーザーには、標準装備の 19 インチダイヤモンドカットホイールとロングレンジタイヤの組み合わせが優れた価値を提供し、Max バージョンで CLTC 航続距離 760km を実現します。

静粛性を重視するドライバーには、20 インチホイールにサウンドアブソービング（防音）ロングレンジタイヤを装着した仕様がおすすです。これらのホイールはボディカラーと同色に塗装された「Halo」タイプ（Max バージョンで CLTC 航続距離 760km）と、よりスポーティなデザインの「Vortex」タイプ（Max バージョンで CLTC 航続距離 750km）の 2 種類から選べます。

より高度なハンドリング性能を求めるドライバー向けに、21 インチホイールにはフロントを細く、リアを太くした前後異径タイヤ仕様が採用されており、3 種類のデザインが用意されています。

中でも「Phantom」ホイールには、Xiaomi 専用のミシュラン Primacy 5 Energy タイヤを装着。最適化されたカーカス構造とトレッドコンパウンドにより、転がり抵抗を低減しつつグリップ性能を向上させ、Max バージョンでは CLTC 航続距離 750km を実現します。

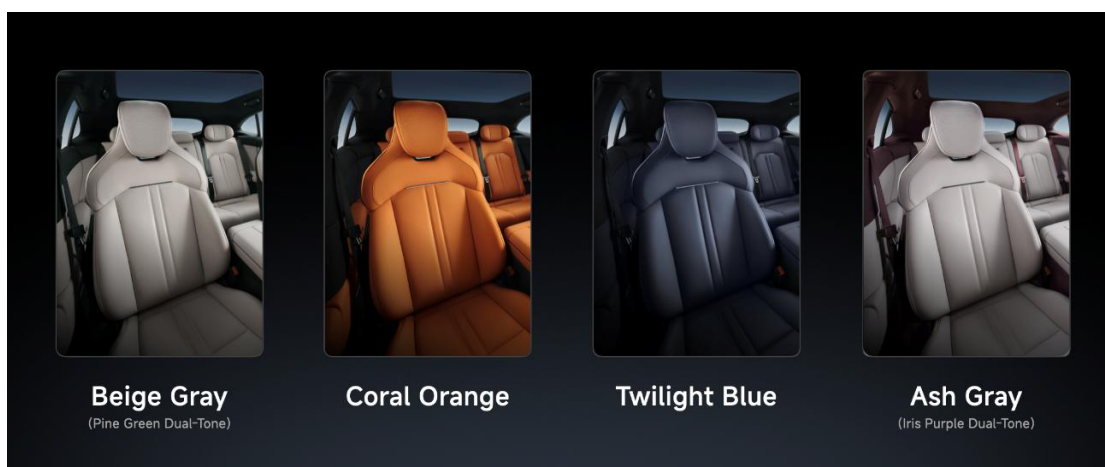
さらに、よりスポーティかつプレミアムな走行体験を求めるユーザーには、鍛造仕様の「Floral（フローラル）」および「Petal（ペタル）」の 21 インチホイールがおすすです。これらにはサウンドインシュレーション（遮音）機能を備えたミシュラン Pilot Sport EV タイヤが組み合わされ、Max バージョンで最大 CLTC 航続距離 670km を達成します。

いずれのホイールも、ホイール回転中でも常に Xiaomi ロゴが正位置に保たれる「フローティングセンターキャップ」を採用。また、ホイールの奥にはレッドまたはイエローの Brembo®製 4 ピストン固定キャリパーが存在感を放ち、走行性能を強調するスポーティなアクセントとなっています。



機能美が息づくラグジュアリーキャビン

エクステリアだけでなく、インテリアにも多彩なバリエーションを揃えているのが Xiaomi YU7 の魅力です。インテリアカラーは、既に発表済みの「パイングレー」「コーラルオレンジ」「トワイライトブルー」に加え、新たに「アッシュグレー＆アイリスパープル」のツートーンを加えた全 4 種類。外装 9 色との自由な組み合わせによって、「パープル×パープル」のような大胆なスタイルから、洗練された多彩なコーディネートまで、無限の表現が可能です。



見た目の美しさに加え、キャビンには真のラグジュアリーな質感が宿っています。キャビン内の触れる機会の多いすべての場所にはソフトタッチ素材が使用されており、その総面積は 17 m²にも及びます。これらの素材はすべて、乳幼児の肌に直接触れても安全な国際基準「OEKO-TEX® クラス 1」の認証を取得しており、子どもを持つ家族にも安心してご利用いただけます。

また、シートには柔らかさと適度な反発力を兼ね備えたナッパレザーを採用。長時間のドライブでも快適な座り心地を提供します。



シートに関しても、Xiaomi YU7 は快適性を徹底的に追求しています。オプションで選べる「デュアルゼログラビティフロントシート」は、ボタンひとつでリクライニングできるうえ、10 点式マッサージ機能を搭載しており、座席を移動することなくドライバーがそのまま休息をとることが可能です。

運転席のゼログラビティシートは、人間工学に基づいた設計で、12 層構造のコンフォートシステムを内蔵。体をしっかりと包み込みながら、背骨の自然なカーブに沿って最適なサポートを提供します。

後部座席には、135°までリクライニング可能なラグジュアリーシートを採用。100°の直立ポジションから 135°のくつろぎポジションまで調整が可能で、シートヒーターも搭載しています。さらに、後部ヘッドレストも厚みと幅が増し、横方向のサポート性が向上

しており、より快適な乗り心地を実現しています。



先進の走行性能と快適な乗り心地：ピークパフォーマンス・ロングレンジ・上質な快適性を両立

80 万元以下最速 SUV：0-100km/h 加速性能は全パワートレインを凌駕

Xiaomi YU7 は、高性能ラグジュアリーSUVとして、自社開発の「3つのコア電動技術」（電動モーター、動力用バッテリー、モーター制御ユニット）をさらに進化させています。

全グレードに搭載されているのは、アップグレード版の「Xiaomi HyperEngine V6s Plus」。最大回転数は 22,000rpm、最大トルクは 528N・m、最大出力は 288kW に達し、さらなる高性能を実現しています。

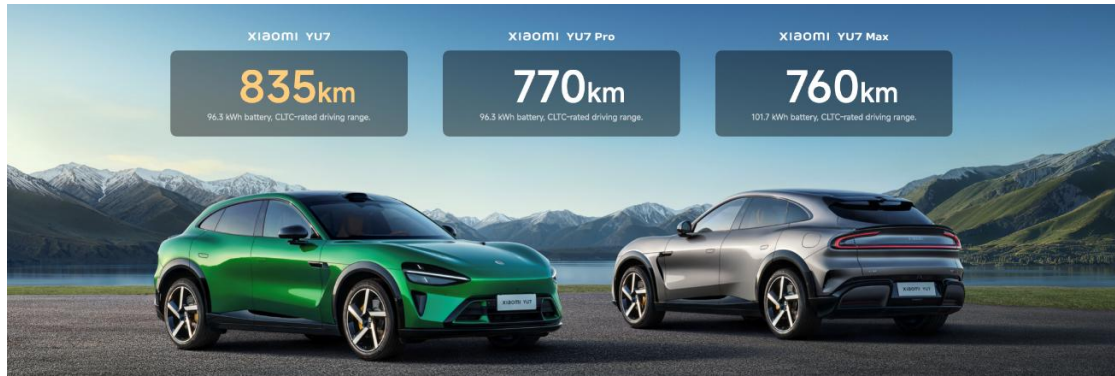
最上位モデルの Xiaomi YU7 Max は、最高出力 690 馬力（PS）、最高速度 253km/h を誇り、0-100km/h 加速はわずか 3.23 秒（ローンチ時の“1 フィート・ロールアウト”を除く場合は 2.98 秒）を記録。これは、80 万元（RMB）未満の SUV として最速の 0-100km/h 加速性能となっています。



835km！大型オール電動 SUV として最長の航続距離を実現

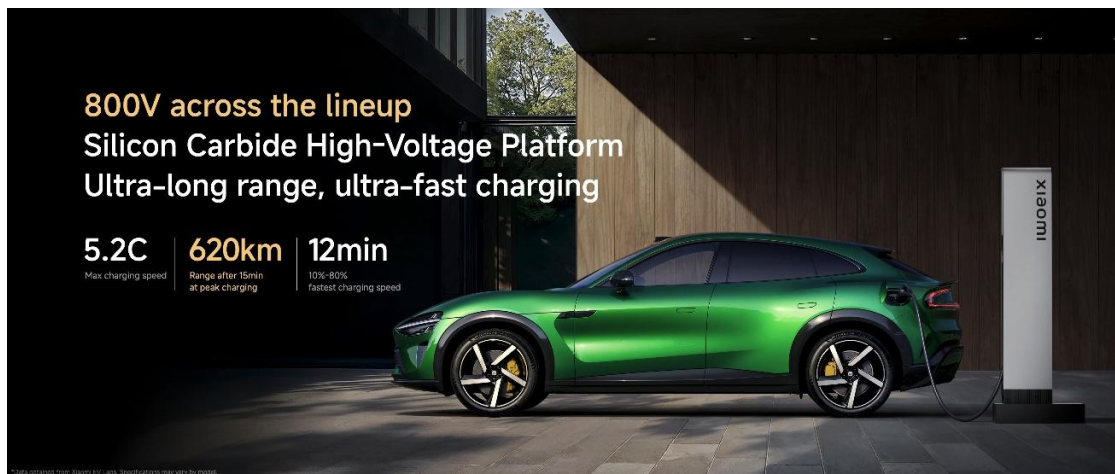
航続距離は、電動 SUV の実力を測る真の指標であり、EV にとって最も重要かつコストのかかる要素のひとつです。Xiaomi YU7 は Standard、Pro、Max の全グレードで、圧倒的なロングレンジ性能を実現。

エントリーモデルの Standard 版は、CLTC モードで最大 835km の航続距離を誇り、ミッド～ラージクラスの EV SUV として業界最長。また、四輪駆動（AWD）モデルでも最大 770km の CLTC 航続距離を達成し、同クラスの AWD EV の中でもトップクラス。1 回の充電で、都市部での通勤なら 2 週間分、長距離移動でも最大 1,000km の走行が可能です。



Xiaomi YU7 の優れたロングレンジ性能は、高度な電動駆動プラットフォームによって実現されています。全グレード共通で、Xiaomi YU7 は 800V シリコンカーバイドプラットフォームを搭載。

最大 5.2C の超急速充電に対応し、わずか 12 分で 10% から 80% まで充電可能。さらに、15 分で最大 620km 分の充電を実現します。



サードパーティ製の急速充電器との互換性も、Xiaomi YU7 にとって重要な性能指標のひとつです。本車両の充電システムは「どこでも充電できる」ことを目指して設計されており、現在中国本土に設置されている約 140 万基の公共充電ステーションのうち、99% 以上での互換性が確認されています。今後はさらに多くの都市や郡のサービスエリアにおいて、Xiaomi 独自の充電ネットワークのカバレッジを拡大していく予定です。

先進技術：1,000 万件のトレーニングデータで強化された、完全アップグレード版「Human × Car × Home」スマートエコシステム

フラッグシップ級の高性能コンピューティングパワー

スマートカーの心臓部である電気・電子アーキテクチャ（EEA）に、Xiaomi YU7 は「4-in-1 ドメインコントロールモジュール」を搭載しています。これは電子エンジンコントロール（EEC）の中枢であり、運転支援ドメイン（ADD）コントローラー、デジタルコックピットドメイン（DCD）コントローラー、車両中央制御ドメイン（VCCD）、およびテレマティクスボックス（T-Box）を統合。複数の機能モジュールを一元化し、高度に統合された中央処理ユニットとして、システム全体のサイズや重量を削減するとともに、エネルギー効率も最適化しています。さらに、Xiaomi YU7 の EEA アーキテクチャは二つの大きな特徴があります。

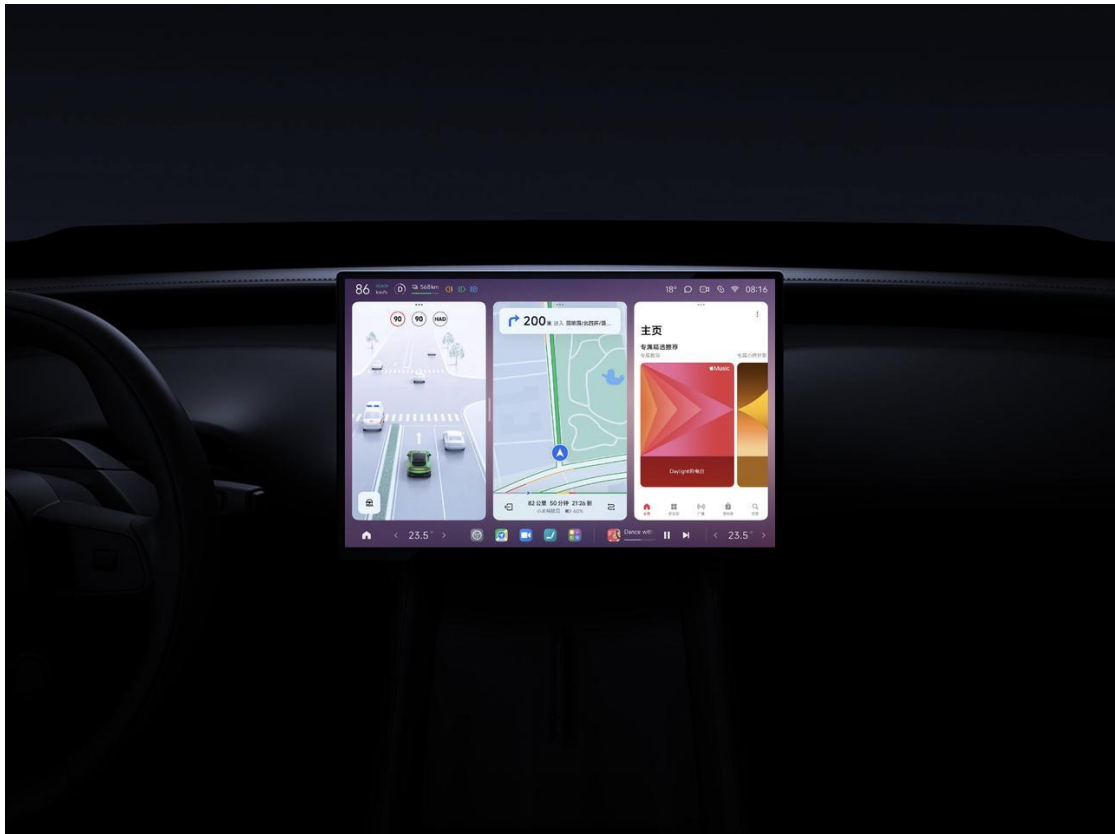
一つ目は強力な演算能力。次世代の4nm プロセスを採用した NVIDIA DRIVE AGX Thor™ 車載コンピューティングプラットフォームを搭載し、700TOPS（毎秒 7 兆回の演算能力）を発揮。これは Orin X チップ 2 基分を上回る性能です。

二つ目は安定性と信頼性。新世代の Xiaomi EEA は徹底的かつ厳格な信頼性試験をクリアし、業界標準の耐久試験を 2 倍以上上回る性能を実証しています。コアボードは AEC-Q104 の自動車グレード試験に合格しており、10 年以上の長寿命を保証しています。

Apple ユーザーも Xiaomi EV でプレミアムな体験を享受

まず、iPhone ユーザー向けの利便性が大幅に向上しました。UWB（超広帯域）によるリモートアンロックに対応し、Xiaomi EV アプリのウィジェットをホーム画面やコントロールセンターのショートカットから操作可能です。さらに、iPhone のアクションボタンを専用の施錠・解錠ボタンとして割り当てることもできます。リアルタイムの車両状況は Xiaomi EV アプリの「Alive Status」機能で確認でき、ナビゲーションルートもスマホから車両へ直接送信が可能です。

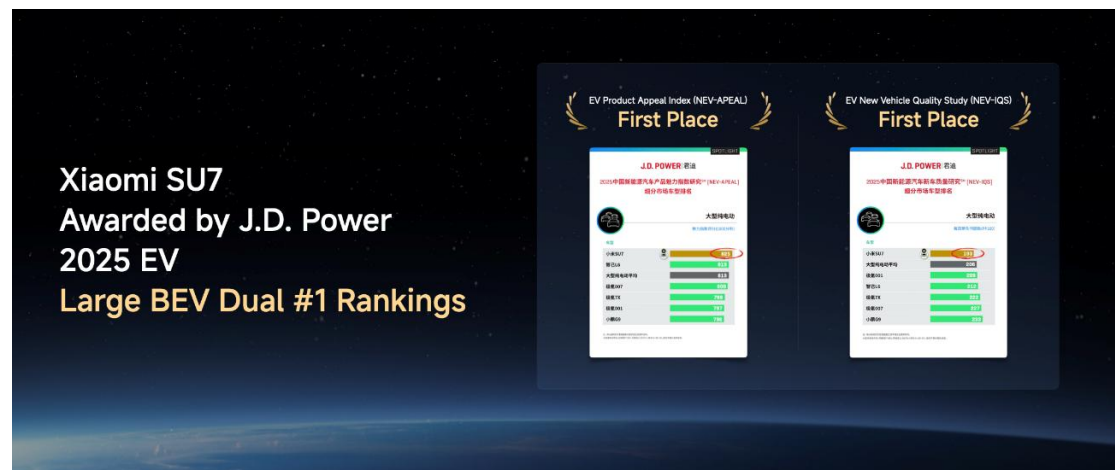
次に、Apple エコシステムとの連携も大幅に強化されました。Apple CarPlay はデスクトップウィジェットとして固定でき、CarPlay と車載アプリの同時表示に対応。車両システムは Apple Music による高音質オンラインストリーミングをサポートし、Apple Watch からの独立した車両コントロールも可能です。後部座席のタブレットホルダーは iPad の拡張利用にも対応しています。



先進の安全性能：最高レベルの安全機能と厳格な安全試験が実現する安心

一部の業界関係者は「安全こそが最大のラグジュアリーである」と語ります。しかし私たちは、安全こそがすべての基本条件であり、基盤であり、核であると考えています。

発売以来、Xiaomi SU7 は権威ある安全試験でトップクラスの評価を獲得し、メディアから「カー・オブ・ザ・イヤー」に選出されるなど高い評価を得ています。新基準である C-IAI 3G+ では、セダンとして史上最高の A 評価を獲得し、改訂版 C-NCAP では最高の 5 つ星評価を達成。クラストップのスコアを記録しています。さらに、J.D.パワーの 2025 年新エネルギー車レポートにおいても、大型純電動車セグメントの主要 2 カテゴリーで第 1 位に輝きました。



超高水準の安全性能

Xiaomi の第 2 モデルである Xiaomi YU7 は、「安全第一」の理念を継承し、包括的な安全設計を実現しています。

Xiaomi YU7 は、車両の主要部位に 2200MPa の Xiaomi 超高強度鋼板を採用しています。これは、自動車業界で量産されているホットフォーミング鋼材としては最高強度のもので、全 4 ドアの衝突防止ビームや、A ピラーおよび B ピラーに配置された 6 本のホットフォーミング拡張チューブなどに使用されており、車体と連携した「埋め込み型ロールケージ」構造を形成。これにより、側面衝突や転倒などの過酷な状況下でも安全性を大幅に向上させています。この先進素材を基盤に、Xiaomi YU7 は高強度鋼とアルミ合金を組み合わせた「アーマーカーゲジ鋼-アルミハイブリッドボディ」を全面的にアップグレード。高強度鋼およびアルミ合金の比率は 90.2%に達し、ねじり剛性は 47,610N・m/度に到達。SUV セグメントでもトップクラスの剛性を誇ります。パッシブセーフティ面においても、Xiaomi YU7 は極めて高い基準で設計されており、C-NCAP および C-IASI の各種クラッシュ基準を網羅した 50 以上の社内試験に合格しています。さらに、全座席の女性乗員を守るための対策も徹底的に施されており、こちらも C-NCAP および C-IASI の試験基準を上回る高い安全性能を実証しています。



バッテリー保護に関して、Xiaomi YU7 に搭載されるリン酸鉄リチウム電池および三元系リチウム電池は、いずれも超高安全基準を満たしており、中国の 2025 年新国家バッテリー安全規制を既に上回っています。さらに、Xiaomi YU7 は Xiaomi SU7 Ultra と同様に、バッテリーパック底部に「防弾コーティング」を採用。また、車体下部には 1,500 MPa の耐傷性クロスビームを追加し、悪路や過酷な走行条件下でもバッテリーセルを強力に保護します。



実走行 6,490,000 キロに及ぶ耐久テスト、最高レベルの安全基準を超える実証

優れた品質は高い車両設計基準だけでなく、厳格な安全性および耐久性テストによってもたらされます。Xiaomi YU7 の開発期間中、653 台のテスト車両が合計 1,062 万キロメートルを走破。うち実道路試験は 539 日間にわたり 649 万キロメートルをカバーし、296 都市を網羅しました。試験環境は、酷暑のトルファン（最高 53℃）、極寒の黒河（最低-41℃）、さらには標高 5,380 メートルのチベット・アリ地区まで及び、中国の

多様な気候や過酷な地形への対応力を実証しています。加えて、安全性、効率性、インテリジェンス、総合性能に関する多数の第三者機関による検証も実施され、すべて専門機関の認証を取得しています。

3,944 km ! Xiaomi YU7 が 24 時間耐久チャレンジ記録を樹立

「良いクルマを作る」ことへの Xiaomi の挑戦は限界突破を意味します。Xiaomi YU7 は最近、パワー、航続距離、充電性能、耐久性、信頼性の限界を試す過酷な 24 時間耐久テストに挑みました。平均完走率約 70%の伝説的モータースポーツイベント「ル・マン 24 時間レース」に着想を得たこのチャレンジは、長距離走行、高速充電、高い性能、優れた熱管理を同時に求められる EV にとって特に厳しいものです。中国自動車技術研究センターの公式監督のもと、Xiaomi YU7 Max のテスト車は 24 時間で 3,944 km を走破し新記録を樹立。より良い技術革新を目指す競争に他ブランドの参加を歓迎します。健全な競争が進歩を促し、それはすべての人により良い電気自動車をもたらします。



Xiaomi について

Xiaomi Corporation(以下 Xiaomi と表記) は 2010 年 4 月に設立され、2018 年 7 月 9 日 (1810.HK) に香港証券取引所のメインボードに上場しました。Xiaomi は、IoT プラットフォームで接続されるスマートフォンとスマートハードウェアを核とした家電およびスマートデバイスを製造する企業です。

Xiaomi は「ユーザーの友となり、最もクールだと"心から"思ってもらえる企業になる」というビジョンを掲げ、イノベーション、高品質なユーザーエクスペリエンス、効率的な運営を追求しています。当社は、世界中の誰もが革新的なテクノロジーを通じてより良い生活を楽しめるように、適正な価格で優れた製品を製造し続けています。

Xiaomi は、世界をリードするスマートフォン関連企業の 1 つです。2025 年 3 月、自社ファームウェアの月間アクティブユーザー数 (MAU) は世界中で約 7 億 1,880 万に達しました。当社はまた、世界をリードするコンシューマ IoT (AI+IoT) プラットフォームを確立しており、2025 年 3 月 31 日時点で、

9 億 4,370 万台以上のスマートデバイス (スマートフォン、ラップトップ、タブレットを除く) が自社のプラットフォームに接続されています。2023 年 10 月、Xiaomi は「Human×Car×Home」というコンセプトで、パーソナルデバイス、スマートホーム製品、電気自動車をシームレスに融合させるよりスマートなエコシステムを目指し、戦略をアップグレードしました。そして、Xiaomi は常にユーザーを大切し、より包括的でシームレスな製品体験を提供します。

現在、Xiaomi 製品は世界中の 100 を超える国と地域で販売されています。Xiaomi は 2024 年 8 月、6 年連続で「Fortune Global 500」にランクインしています。